

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

| 学校名 | 埼玉県立越谷北高等学校 | | Aグループ |
|------------|--|--|-------|
| 項目 | 調査の観点 | 取組状況に関する所見 | |
| 目指す学校像 | 目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。 | 学校の置かれた状況や生徒の実態を把握し、今年度見直しが図られている。学校の現状や課題などを踏まえて概ね適切に設定されているが、開校50周年を見据えて、次のステージに向けた学校像を模索していただきたい。 | |
| 重点目標 | 学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。 | 授業改善に関して前年度と比べ整理され、「学力向上を達成する質の高い授業づくり」と改訂されている。重点目標に学校が取り組もうとする方向は示されているが、到達点はやや不明確であるので、学校の目指すところが明確かつ具体的に示されることが望まれる。 | |
| 重点目標達成への取組 | 重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。 | 企画委員会と分掌・学年等が連携し、学校自己評価システムが運営されている。評価項目が、年度の達成目標としては分かりにくいので、明確かつ重点化された目標となるように更に工夫していただきたい。 | |
| | 方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。 | 自学自習力を育成するために課題の教科間での調整や、部活動時間の徹底、「記録ノート」の有効活用など様々な方策が策定され、具体的な成果も上がってきている。方策の評価指標については前年度に比べ改善がみられるが、引き続き教職員間で目標の達成イメージが共有できるような工夫をすると更に良い。 | |
| | 校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。 | 企画委員会、職員会議において、校長が学校の課題等に関する教職員の共通理解を図っている。分掌等のシートに経過欄を設け、中間進捗の把握のために有効に活用するなど、校長が的確にリーダーシップを発揮し、分掌・学年・教科などが全体の目標を理解した上で、適切に連携して全体を挙げての取組を行っている。 | |
| | 学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。 | アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。アンケートの結果等を関係者に適切にフィードバックするなど工夫するとともに、学校関係者の意見やアンケート結果等を詳細に分析して新たな課題の析出や方策の見直しを検討するなど、次年度のより具体的な取組につなげ、スパイラルアップを図るようにしていただきたい。 | |
| 特記事項 | | | |